

## 會から

○四月新入園のお子さん達も、もう幼稚園に親しんで遊んでいられるでしょう。庭の運動具は、自分の家になんか、ジャングルジムなんか、そのかしらで、初めての子も沢山い入るでしょう。あの運動具は、見ていると危なそうで、一番危険の起らない点はよく考えてあると思えます。よく考えたというよりは、あれは、一名猿のぼりといわれるように、猿の木のぼり、枝わたり、を学んだものかも知れません。先生方も、もつと動物の自然生活を見物せられたら、新しい運動具の発見もふえるでしょう。ところで、ジャングルジムの安全なのは子どもの行動が本能に導かれる仕組みになっているからだと説明せられます。登りたいのも本能、落ちないようにするのも本能、それが、よく考えられ、否、猿の生活から学ばれてあるという訳です。ほんとうの自然ほど安全なものはない。なまじ落ちまいと意識で注意したりすると、心が頭に上つて(?)足がふるえてすべる。傍で、本能の弱くなつた(!)先生が、危いく、気をつけてく、なんか教えると、却つていけませんね。運動具の秘訣も、その遊ばせ方のコツもそこ

にあるようです。一つ、猿をジャングルジムで遊ばせてみたらどうでしょう。こんなもの山にはいくらでもあるというでしょう。よい運動具にはそういうものが沢山ありそうです。五月の爽かな庭をのぞいて、運動具論になりましたが、これは保育全体に通じることのようです。

○さて本号は鈴木氏のカリキュラム論が、内容的に六ヶ月に及ぶものであるため全文一括して掲載いたしました関係上、毎月連載の平井氏の講話、松原氏の童話、畑合氏の記録を、已むなく割愛せねばならぬことになりました。この点、両氏並びに読者各位に御諒解を御願ひしたいと存じます。

### 『幼児の教育』編集

編集主任 倉橋惣三  
協力委員 牛島義友  
及川ふみ  
齋藤文雄  
多田鐵雄  
波多野完治  
山下俊郎  
西山浪太郎

編集委員

日本幼稚園協會

### 幼児の教育 第五卷 第五号

定價 金叁拾円

昭和二十六年五月十五日印刷  
昭和二十六年五月二十日発行

東京都中野区千光前町一〇

編輯兼 倉橋惣三  
發行者

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都文京区大塚町三十五

お茶の水女子大学附屬幼稚園内  
發行所 日本幼稚園協會

東京都千代田区神田神保町二ノ四

發賣所 株式会社 フレーベル館

電話九段(33)三七七・三〇七番  
振替 東京一九六四〇番

○本誌御購読について注文申込その他は凡べて發売所フレイベル館宛に願ひます